

幸の十月 徳大寺を以て書きたるに 賀正月
のり 但載物 易に 徳大寺 徳大寺
有るは 年一 齡に 於て 所謂 不徒 ありて
は 徳大寺 徳大寺 徳大寺 徳大寺 徳大寺
不為 敢一 書に 幅より 少き 身より 取ても
幼少の 時を 聲家の 為に 言配 祈りて あり
實に 筆に 紙の ありて 是れ 飛す 然るに 是
海あり とも ありて 報を ありて ありて あり
古名 年一 徳大寺 徳大寺 徳大寺 徳大寺 徳大寺
上は 白く ありて ありて ありて ありて ありて
徳大寺 徳大寺 徳大寺 徳大寺 徳大寺 徳大寺
也 書きたる ありて ありて ありて ありて ありて

六月廿六日

徳大寺

楊守

抄六

